

備前市事務事業評価シート

事業の概要			
事業開始年度	S46~		
総合計画	大項目	基本目標	04
	中項目	基本施策	03
	小項目	施策	01
事務事業名	06	備前焼振興事業	
根拠法令・例規等		担当課(室)	商工観光課
職・氏名		観光係長	金藤 康樹
電話		64-1832(274)	
このシート作成に要した時間		4.0 時間	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	観光関係団体、観光客など
目的(何のために)	全国に誇れる備前焼を観光資源として全国展開し、観光振興による産業の活性化と人口増を促すとともに、日本の伝統美術の伝承と歴史的な財産の保存のため。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	備前焼伝統産業会館等の利用者増

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	備前焼伝統産業会館管理運営事業	備前焼伝統産業会館の維持管理に要する経費(指定管理料)810,000円	
	備前焼陶友会補助事業	(協)岡山県備前焼陶友会に対して運営活動及び観光バス専用駐車場工事費補助。574,000円	
	備前焼まつり補助事業	備前焼まつり実行委員会に対して祭りの運営活動補助。2,000,000円	
	備前焼振興対策事業	岡山県備前焼陶友会に対して、備前焼販路開拓の拡大を図る。1,381,477円	
	六古窯サミット事業	日本のやきものを代表する六古窯産地の首長や関係者が一堂に会し、情報交換や、共同事業を通じた交流を行い啓発する。184,725円	
	伝統的工芸品産業振興協会会費	(財)伝統的工芸品産業振興協会への加入負担金。50,000円	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	直接事業費		4,166	4,176	5,000
	必要人員(人件費)	千円	0.51人	0.58人	0.48人
	事業費		8,491	9,491	9,502
	国県支出金				
	受益者負担				
財源	繰入金	千円			
	その他()				
	一般財源		8,491	9,491	9,502
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
結果指標	会館等入館者	説明			
	結果指標量	事業	47,053	45,758	36,622
	対前年比	%	97.2%	80.0%	
	活動コスト	円	8,491,000	9,291,000	9,502,000
単位当たりコスト		180	203	259	

事業の成果 (平成22年度事業)						
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値	
		目標値(A)	70,000	70,000	70,000	70,000
備前焼伝統産業会館等の利用者数		実績値(B)	47,053	45,758	36,622	到達目標値
		達成率(B/A)	67.22%	65.37%	52.32%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明						
観光動態調査による推計						

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A~E> C
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> C
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 <A~E> C
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	多様化する顧客のニーズに対応するため、関連団体と連携を取りながら各種媒体を利用し備前焼のPRを行い、備前焼の振興と観光客の誘客を促進する。						

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	
我が国を代表する伝統工芸品である備前焼を、伝承・普及するための施設管理運営及びイベントによるアピールの事業効果は非常に高い。今後も効果的なPRを行うためにも観光客のニーズを調査していく必要がある。	評価区分 <A~E>	C	

平成24年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	情報発信を行うことが重要で、広報誌やインターネット等各種媒体を活用したPRを積極的に行っていく必要がある。						